

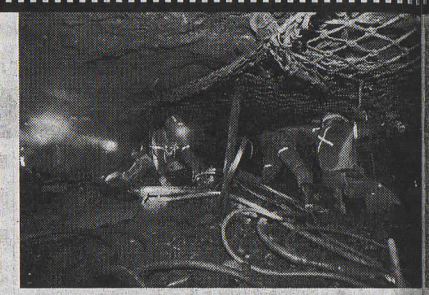
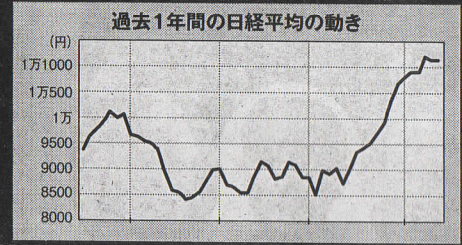
アベ相場 専門家5人 ガチンコ予測!! 第2弾

1カ月で1割以上アップする

投信 86本

予測レースに出場した専門家5人

氏名	経歴
下村優太 (29) 投信評価会社「モーニングスター」アナリスト	都市銀行勤務を経て、大学院で金融工学を専攻。現在は、同社の調査分析部で、投資信託の調査・分析業務を行っている
村岡里香 (41) 生活総合情報サイト「All About」の投資信託ガイドを務めるファイナンシャルプランナー (FP)	ひまわり証券で顧客の投資プラン提案業務に10年間従事。現在はマネーとキャリアのコンサルティング会社プラチナ・コンシェルジュ所属
深野康彦 (50) 「ファイナンシャルリサーチ」代表	クレジット会社を経て独立系FP会社に入社し、96年に独立。業界歴24年目のベテランFP。著書に「あなたの毎月分配型投資信託が危ない!!」(ダイヤモンド社)など
伊藤亮太 (30) 経営コンサルティングなどを行う「スキラージャパン」副社長。東洋大学経営学部非常勤講師	学生時にCFP資格取得。証券会社勤務などを経て、独立系FPとして、資産運用等の相談、講演、執筆などを行っている
横山利香 ブログ「トレード日記」が人気のFP。女性投資信託、外貨への投資など、自身の投資体験に基づいた執筆活動や投資教育などを行う	ビジネス系出版社の編集者を経て独立。株や投資信託、外貨への投資など、自身の投資体験に基づいた執筆活動や投資教育などを行う



「答え合わせ&成績」も後日発表!

2月15日号の「1カ月後に1割上がる株」に続く、専門家がプロの「名」にかけてガチンコ大予測する第2弾。今回は投資信託だ。「アベ相場」が底堅く推移するなか、投信への関心も高まっているという。これから1カ月で、「価格」が1割以上アップする投信は何か。

「期未までには1万3千円を目指して、我々ががんばるぞ」という気概を示すことが大事だ」

なんと、株式相場の「目録」に言及したのだ。「株式相場の「目録」にありませんね。相場の格言に「国策に売りなし」とありますが、まさにその状態です」(前出の社員)

強気になった個人投資家の資金は投資信託にも戻りつつある。投資信託協会によると、新たに立ち上げられた、株で運用する投信が集めたお金は1月に3兆2407億円と5年半ぶりの高水準になったのだ。

「期未までには1万3千円を目指して、我々ががんばるぞ」という気概を示すことが大事だ」

なんと、株式相場の「目録」に言及したのだ。「株式相場の「目録」にありませんね。相場の格言に「国策に売りなし」とありますが、まさにその状態です」(前出の社員)

強気になった個人投資家の資金は投資信託にも戻りつつある。投資信託協会によると、新たに立ち上げられた、株で運用する投信が集めたお金は1月に3兆2407億円と5年半ぶりの高水準になったのだ。

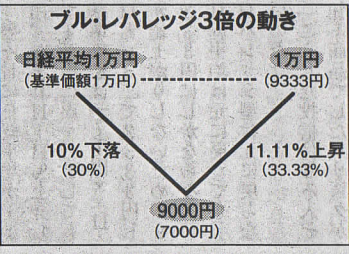
くり大きく分けて三つ。①小さな資金で大きく儲ける「レバレッジ」派：深野氏、横山利香氏 ②優秀なファンドマネジャー発掘派：村岡里香氏、下村優太氏 ③世界景気の回復を取り込め派：伊藤亮太氏

投信の基礎知識も29頁の囲み記事で紹介した。それでは、それぞれの戦略を見ていこう。

まず深野氏の意見は、「1カ月で1割以上を狙うのなら、レバレッジをかけるしかない」

小さな力で大きな物を動かす「レバレッジ」にたとえて、「元手資金よりはるかに多い金額の運用をすることをレバレッジ取引と言う。100万円の元手で200万円分を運用するならレバレッジ2倍、300万円分なら3倍だ。日経平均に連動する投信で考えてみよう。ざっくり

ハイリターン・レバレッジ派



説明すると、日経平均1万円のときに投資し、1万1千円(値上がり率10%)に値上がりした場合、儲けは通常1千円だ。これに対して、レバレッジ3倍だと3千円(値上がり率10%×3)に跳ね上がる。

「一本調子で上昇する相場のとくにうまく使えば、高い利益を上げられる可能性があるのです」(深野氏)

深野氏が勝負する20本はすべてレバレッジ型だ。ファイナンシャルプランナー(FP)の横山氏も深野氏と同じ5本に注目する。

実際、最近の成績は絶好調だ。2人が推奨する「S

「相場が戻ったため、リマンショックで値下がりして「塩漬け」になった投信の解約売りもまだ多い。しかし、新規の資金も記録的な水準で入り始めている」(評価会社アナリスト)

ということで、本誌は急きよ予測レース第2弾を開催することにしました。

出場するのは、ファイナンシャルリサーチの深野康彦代表ら専門家5人。詳しい紹介は左ページの「一覧表」とおり。新鋭からベテランまで投信のプロばかりだ。

挙げてもらったのは、本誌発売から1カ月後の3月19日時点で、基準価額が1割以上アップすると予測する投信20本ずつ(26頁からの一覧表)。1カ月後には答え合わせも発表する。一番人気は3人が挙げた2本で、どちらも日本株に投資するもの。2人が挙げた10本のうち7本も日本株が対象だ。

専門家がガチンコ勝負に打って出ただけあって、それぞれに戦略が練られていておもしろい。戦略はざっ

専門家が勝負する86本

左端は注目人数。「カテゴリ」は「モーニングスター」などのホームページによる。詳しくは同社サイト (<http://www.morningstar.co.jp>)。「基準価額」の「1割アップ後」は、小数点第1位(ドル建ては第3位)を四捨五入。「運用会社」の※は信託受託者

注目人数	商品名	カテゴリ	運用会社	基準価額		横山	下村	伊藤	深野	村岡
				2月14日時点	1割アップ後					
3人	楽天日本株トリプル・ブル	株式ブル型	楽天投信投資顧問	1万1584円	1万2742円	★		★	★	
	JF ザ・ジャパン	国内小型グローブ	JPモルガン・アセット・マネジメント	2万9446円	3万2391円	★	★			★
2人	NEXT FUNDS 日経平均レバレッジ・インデックス運動型上場投信	株式ブル型	野村アセットマネジメント	60万3176円	66万3494円	★				★
	TOPIX ブル2倍上場投信	株式ブル型	シンプレクス・アセット・マネジメント	1万2963円	1万4259円	★				★
	上場インデックスファンド S&P日本新興株100	国内小型ブレンド	日興アセットマネジメント	6万9828円	7万6811円	★		★		
	WTI原油価格連動型上場投信	コモディティ	シンプレクス・アセット・マネジメント	5710円	6281円	★				★
	SBI日本株トリプル・ブルベアオープン(ブル)	株式ブル型	SBIアセットマネジメント	1万5682円	1万7250円	★				★
	フィデリティ・日本バリュー・ファンド	国内大型バリュー	フィデリティ投信	1万9060円	2万966円		★			★
	スパークス・ジャパン・スモール・キャップ・ファンド	国内小型ブレンド	スパークス・アセット・マネジメント	1万6872円	1万8559円			★		★
	朝日Nvest グローバルバリュー株オープン	国際株式・グローバル・除く日本(F)	朝日ライフアセット・マネジメント	1万1806円	1万2987円			★		★
	中国H株ブル2倍上場投信	株式ブル型	シンプレクス・アセット・マネジメント	1万2860円	1万4146円	★				★
	大和住銀 日本小型株ファンド	国内小型バリュー	大和住銀投信投資顧問	9507円	1万458円			★		★

商品名	カテゴリ	運用会社	基準価額	
			2月14日時点	1割アップ後
NEXT FUNDS 東証REIT 指数連動型上場投信	国内REIT	野村アセットマネジメント	13万287円	14万3316円
JASDAQ-TOP20上場投信	国内小型グローブ	シンプレクス・アセット・マネジメント	2049円	2254円
上場インデックスファンドTOPIX Small日本小型株	国内小型ブレンド	日興アセットマネジメント	10万9272円	12万199円
NEXT FUNDS ダウ・ジョーンズ工業株30種平均株価連動型上場投信	国際株式・北米(F)	野村アセットマネジメント	1万2649円	1万3914円
MAXIS 海外株式(MSCIコクサイ)上場投信	国際株式・グローバル・除く日本(F)	三菱UFJ投信	13万539円	14万3593円
上場インデックスファンド 海外新興国株式(MSCIエマーゼィング)	国際株式・エマーゼィング・複数国(F)	日興アセットマネジメント	12万3763円	13万6139円
NEXT FUNDS ブラジル株式指数・ボヘバ連動型上場投信	国際株式・ブラジル(F)	野村アセットマネジメント	2万4612円	2万7073円
国内金先物価格連動型上場投信	コモディティ	みずほ投信投資顧問	4757円	5233円
HSBCインドオープン	国際株式・インド(F)	HSBC投信	1万5211円	1万6732円
JASDAQ-TOP20指数ファンド	国内小型グローブ	三井住友アセットマネジメント	1万1965円	1万3162円
ベトナム株式ファンド	国際株式・エマーゼィング・単一国(F)	三井住友アセットマネジメント	9430円	1万373円
DIAM VIPフォーカス・ファンド	国際株式・エマーゼィング・複数国(F)	DIAMアセットマネジメント	1万1431円	1万2574円

横山氏の注目商品

BI日本株トリプル・ブルベアオープン(ブル)は、昨年11月に基準価額が7千円台だったが、今年2月には一時1万6千円を突破した。実に3カ月で2倍以上になっている。金融用語で「ブル」は強気、「ベア」は弱気という意味だ。ただ、リスクも高い。25の図を見ながら説明しよう。前出のように日経平均に連動する投信で、日経平均1万円のとときに投資し、翌日に10%下落して9千円になった場合、レバレッジ3倍なら損失は「1万円×(10%×3)」で3千円に膨らむ。基準価額は7千円だ。翌々日に日経平均が1千円、つまり11・11%上昇して1万円に戻ったとしても、基準価額は「7千円×(11・11%×3)」で2万3千3百3円しか値上がりしないため、9千3百3円にしかならない。日経平均は元に戻っても、レバレッジ型は元に戻らないのだ。こうした投信は知る人ぞ知る商品でした。リスクが

商品名	カテゴリ	運用会社	基準価額	
			2月14日時点	1割アップ後
三菱UFJ グローバルインベション	国内大型グローブ	三菱UFJ投信	8059円	8865円
ストラテジック・バリュー・オープン	国内大型ブレンド	野村アセットマネジメント	1万2203円	1万3423円
りそな・アクティブ・ジャパン	国内大型グローブ	アムンディ・ジャパン	6800円	7480円
DIAM 新興市場日本株ファンド	国内小型グローブ	DIAMアセットマネジメント	1万5596円	1万7156円
フィデリティ・世界小型株投信	国際株式・グローバル・含む日本(F)	フィデリティ投信	1万1840円	1万3024円
日興レジェンド・イーグル・ファンド(資産成長コース)	国際株式・グローバル・含む日本(F)	アムンディ・ジャパン	1万2426円	1万3669円
LM・オーストラリア高配当株ファンド(毎月)	国際株式・オセアニア(F)	レグ・メイソン・アセット・マネジメント	1万6549円	1万8204円
ダイワ・オーストラリア高配当株ファンド	国際株式・オセアニア(F)	大和証券投資信託委託	1万3418円	1万4760円
ニッセイ オーストラリア高配当株ファンド(毎月)	国際株式・オセアニア(F)	ニッセイアセットマネジメント	1万3904円	1万5294円
UBS 中国株式ファンド	国際株式・中国(F)	UBSグローバル・アセット・マネジメント	9028円	9931円
三井住友・ニュー・チャイナ・ファンド	国際株式・中国(F)	三井住友アセットマネジメント	1万3367円	1万4704円
JF チャイナ・ファンド	国際株式・中国(F)	JPモルガン・アセット・マネジメント	3万3492円	3万6841円
BNYメロン・ブラジル・インフラ・消費関連株式ファンド	国際株式・ブラジル(F)	BNYメロン・アセット・マネジメント・ジャパン	1万1108円	1万2219円
AAM ブラジル株式ファンド	国際株式・ブラジル(F)	アパティーン投信投資顧問	7210円	7931円
HSBC ブラジルオープン	国際株式・ブラジル(F)	HSBC投信	1万1531円	1万2684円
DIAM ストラテジックJ-REITファンド	国内REIT	DIAMアセットマネジメント	9945円	1万940円
野村ブル・ベアセレクト5(米国株スーパーブル5)	株式ブル型	野村アセットマネジメント	1万1885円	1万3074円
フィデリティ・USリート・ファンドB(為替ヘッジなし)	国際REIT・特定地域(F)	フィデリティ投信	5881円	6469円
上場インデックスファンド 豪州リート	国際REIT・特定地域(F)	日興アセットマネジメント	13万2590円	14万5849円
上海株式指数・上証50連動型上場投資信託	国際株式・中国(F)	野村アセットマネジメント	2万3220円	2万5542円
フィリピン株ファンド	国際株式・エマーゼィング・単一国(F)	キャピタルアセットマネジメント	1万6705円	1万8376円
イーストスプリング・インドネシア株式オープン	国際株式・エマーゼィング・単一国(F)	イーストスプリング・インベストメント	1万1959円	1万3155円
CAM ベトナムファンド	国際株式・エマーゼィング・単一国(F)	キャピタルアセットマネジメント	1万1559円	1万2715円
JF アセアン成長株オープン	国際株式・エマーゼィング・複数国(F)	JPモルガン・アセット・マネジメント	1万2323円	1万3555円
ニュージーランド株式ファンド	国際株式・オセアニア(F)	カラアセットマネジメント	1万1468円	1万2615円
損保ジャパン・フォルティス・トルコ株式オープン	国際株式・エマーゼィング・単一国(F)	損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント	1万1629円	1万2792円
シュロダー・ラテンアメリカ株投資	国際株式・エマーゼィング・複数国(F)	シュロダー・インベストメント・マネジメント	8042円	8846円
フィデリティ・欧州中小型株・オープンB(為替ヘッジなし)	国際株式・欧州(F)	フィデリティ投信	1万8018円	1万9820円
インベスコ 欧州東方拡大株式ファンド	国際株式・ロシア(F)	インベスコ投信投資顧問	9360円	1万296円
野村ブル・ベアセレクト5(米国債4倍ベア5)	債券ベア型	野村アセットマネジメント	9005円	9906円
ジャパン・ゴールドファンド(ブル2倍型)	コモディティ	ITCインベストメント・パートナーズ	1万9017円	2万919円
NEXT FUNDS 日経・東工取白金指数連動型上場投信	コモディティ	野村アセットマネジメント	2万9868円	3万2855円
Wブル・香港株オープン	株式ブル型	新光投信	1万6746円	1万8421円

下村氏の注目商品

伊藤氏の注目商品

高いため、かつてはだれでもは買えず、顧客に売る際には、支店長の許可が必要だったようです(深野氏)。昨年11月中旬以降、日本株は一本調子で上昇した。今後1カ月も、このトレンドが続くならば、深野氏の戦略は妥当たりとなる。

運用者が優秀な投信は高い実績

これに対して村岡氏は、「相場は調整すると見えます。投資先の銘柄を絞り込んで勝負できないでしょう」と値上がりする銘柄を探し出す能力に優れた敏腕ファンドマネジャー(FM)が運用する投信に注目する。モーニングスターの下村氏も同じ意見だ。「悪い相場でも高いパフォーマンスを出しているFMは手腕がある。実績を見ればわかります」この2人が注目するのが、「JFザ・ジャパン」「フィデリティ・日本バリュー・ファンド」などだ。いずれ

商品名	カテゴリー	運用会社	基準価額	
			2月14日時点	1割アップ後
野村 ハイパーブル・ベア3 (日本ハイパーブル3)	株式ブル型	野村アセットマネジメント	1万7284円	1万9012円
ダイワ・ブルベア・ファンドⅢ ブル2.5倍日本株ポートフォリオⅢ	株式ブル型	大和証券投資信託委託	1万8042円	1万9846円
日本株2.5ブルベア・オープン (日本株2.5ブル・オープン)	株式ブル型	国際投信投資顧問	1万2385円	1万3624円
日本トレンド・セレクト(ハイパー・ウェイブ)	株式ブル型	日興アセットマネジメント	1203円	1323円
新光Wブル・日本株オープンⅡ	株式ブル型	新光投信	4659円	5125円
日経225ダブル・ブルファンド	株式ブル型	新光投信	1万1282円	1万2410円
225ブル型オープン2	株式ブル型	岡三アセットマネジメント	1万6176円	1万7794円
日興ブルベアセレクト ブラジルリアル・ダブルブル・コース(毎月)	為替ブル型	日興アセットマネジメント	6151円	6766円
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ2(ブラジル ・ダブルブル(為替ヘッジなし)2)	株式ブル型	T&Dアセットマネジメント	6020円	6622円
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ2 (リアル・ダブルブル2)	為替ブル型	T&Dアセットマネジメント	1万577円	1万1635円
楽天・チャイナファンドシリーズ(中国A株ブル1.5)	株式ブル型	楽天投信投資顧問	6255円	6881円
野村ブル・ベアセレクト5(円安ドル高トレンド5)	為替ブル型	野村アセットマネジメント	1万3444円	1万4788円
野村ブル・ベアセレクト5(円安ユーロ高トレンド5)	為替ブル型	野村アセットマネジメント	1万3175円	1万4493円
野村ブル・ベアセレクト5(円安ドル高トレンド5)	為替ブル型	野村アセットマネジメント	1万3089円	1万4398円
T&Dダブルブル・ベア・シリーズ2(中国・ダブルブル2)	株式ブル型	T&Dアセットマネジメント	7056円	7762円
ひふみ投信	国内中型ブレンド	レオス・キャピタルワークス	1万5998円	1万7598円
グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープンB コース(為替ヘッジなし)	国際株式・グローバル・含む日本(F)	国際投信投資顧問	2万969円	2万3066円
アメリカン・ドリーム・ファンド	国際株式・北米(F)	新生インベストメント・マネジメント	1万746円	1万1821円
JPM・BRICS5・ファンド	国際株式・エマージング・複数国(F)	JPモルガン・アセット・マネジメント	1万8185円	2万4円
JPMエマージング株式ファンド	国際株式・エマージング・複数国(F)	JPモルガン・アセット・マネジメント	1万4214円	1万5635円
ベトナム・ASEAN・バランスファンド	バランス	T&Dアセットマネジメント	8907円	9798円
シェアーズ MSCI フロンティア100 インデックス・ファンド(FM)	国際株式・エマージング・複数国(F)	ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ	28.81ドル	31.69ドル
上場インデックスファンド中国H株	国際株式・中国(F)	日興アセットマネジメント	10万2629円	11万2892円
NEXT FUNDS ロシア株式指数・RTS連動型上場投信	国際株式・ロシア(F)	野村アセットマネジメント	1万5221円	1万6743円
NEXT FUNDS タイ株式SET50指数連動型上場投信	国際株式・エマージング・単一国(F)	野村アセットマネジメント	2万9425円	3万2368円
SMT J-REITインデックス・オープン	国内REIT	三井住友トラスト・アセット・マネジメント	9182円	1万100円
SMT グローバルREITインデックス・オープン	国際REIT・グローバル・除く日本(F)	三井住友トラスト・アセット・マネジメント	1万2229円	1万1252円
DIAM アジア・オセアニア・リートファンド	国際REIT・特定地域(F)	DIAMアセットマネジメント	1万3729円	1万5102円
純プラチナ上場信託(現物国内保管型)	コモディティ	三菱UFJ信託銀行※	5120円	5632円

深野氏の注目商品

村岡氏の注目商品

投資信託ってどんなもの？ 基礎からお教えします。

テレビや新聞などでよく耳にする「ファンド」。日本語で言えば「基金」です。ファンドとは、たくさんのお金を集めたお金の投資家から集めたお金のこと。そのファンドを使って、株や債券などに投資し、配当、利子、売却益などの儲けは投資家に分配します。そのひとつに投資信託(投資信)があります。

「最近では、株や債券だけでなく、原油、金、リートなどに投資をする投資まで増えており、バリエーションはとて豊富になりました」(マネー雑誌編集者)

投資信託は証券会社や銀行で買えます。値段のことを基準価額と言いますが、その投資が投資している株や債券などの値段をもとに1日1回算出されます。

日経平均をはじめ各種の指数に連動して値段が上下するETF(上場投資信託)など、株式市場に上場しているものもあります。これは、市場が開いている間株と同じように値段は刻々と変わります。

ファンドを使つて、どんな金融商品を使つ、どれだけ売買するか、という運用の責任者をファンドマネジャーと呼びます。

「日本株ならともかく、海外株は有望な個別銘柄を探すのが大変。優秀なファンドマネジャーを見つけて、運用を任せたいほうが効率的でしょう」(横山氏)

素人が下手に手を出すより、プロに任せるのもひとつの手法なのです。

「投資は過去の成績を見る事ができます。購入する際はそれを必ず見て、運用実績の高い投資を購入するといひましょう」(下村氏)

分散投資も特徴のひとつ。分散投資は、株でも債券でも、多くの資産に分散して投資します。投資するA社の株価が下がったとしても、ほかの投資先である

「B社の株やC国の国債の値上がりで補えます。仮にA社が倒産しても、その投資が紙くずにならずにすむわけです」

加えて、購入単価が低いのもメリット。基準価額は1口当たり1万12万円程度。1口から買えるので、お小遣い程度の金額から気軽に始められます。

一方、個別でトヨタ自動車株に投資すると、40万円以上が必要ですが、40万円以上あれば、メリットばかりではありません。

まず、元本は保証されません。コストが高いのもデメリットです。購入する際には、ほとんどの場合、2〜3%程度の手数料を支払います。運用会社などに支払う信託報酬も必要になります。

短期で売る場合はコストをよく考えてからにしましょう。

いずれにせよ、投資をする前に基本をしっかり理解することが不可欠です。

本誌・常富浩太郎

「景気の回復が見えてくるのに、相場は世界的に出遅れています」(下村氏)

昨年の主要な株価指数(31カ国)の上昇率をみると、中国の上海総合は3.2%(28位)、ブラジルのボベスは7.4%(24位)にとどまり、世界平均の13.4%を大きく下回った。

「昨年、大幅上昇したトルコなどに比べて上昇余地は大きいと見えています」(同)

下村氏の選んだこれらの投資は、すべて「為替ヘッ

世界景気も回復 恩恵を取り込め

伊藤氏の着眼点は、「日米を中心に世界景気は上向いていくでしょう。特に米国は住宅市場や雇用情勢が改善傾向にあります」

景気回復への期待から日米の株に投資する投資家はレバレッジ型を選択。不動産市況の上昇を見込んで、日米のリート(不動産投資信託)に投資する投資も注目する。

新興国関連では、インドネシア、フィリピン、ベトナムといったASEAN(東南アジア諸国連合)構成国にも目を向ける。

その一、インドネシアについては伊藤氏はこう見る。昨年、インドネシアの通貨ルピアは、アジア新興国の中で最も価値を下げた。輸出が低迷する一方で輸入が拡大し、インドネシアが昨年初めて貿易赤字に転落したためだ。

「しかし、米国や中国の景気回復で輸出が上向き、今年、貿易をはじめとする経常収支は黒字転換するでしょう」(伊藤氏)

そうなれば、「ルピア高・円安」基準価額の上昇となるわけだ。安倍政権の日本だけでなく、世界全体が回復傾向にある。今後1ヵ月、そうした見方に沿っていくかどうか。

果たして、5人の専門家の結果はいかに。ただ、どの意見を参考にすることは、ハイリターンであることは、ハイリスクと表裏一体であることをくれぐれもお忘れのないように。

も過去1ヵ月の値上がり率は1割以上だ。

なかでも、評価が高いのがJFザ・ジャパン。運用を開始したのは1999年。日本株人気がなかったときも生き残ってきた実力派の投資家だといひ。

「銘柄の選択力が抜群にいい。相場の変化に反応し、銘柄を大胆に入れ替えるスタイルも特徴」(村岡氏)

両氏は海外の好成績の投資にも目を向ける。下村氏の注目は、中国、ブラジルの株に投資する投資だ。

「景気の回復が見えてくるのに、相場は世界的に出遅れています」(下村氏)

昨年の主要な株価指数(31カ国)の上昇率をみると、中国の上海総合は3.2%(28位)、ブラジルのボベスは7.4%(24位)にとどまり、世界平均の13.4%を大きく下回った。

「昨年、大幅上昇したトルコなどに比べて上昇余地は大きいと見えています」(同)

下村氏の選んだこれらの投資は、すべて「為替ヘッ